



## 規則正しい生活習慣の定着を目指して

確かな学力を身に付けさせるためには、基本的な生活習慣を定着させることが大切です。家庭でも次の事を意識していただければと思います。

- ・朝は6時30分までに起きる。
- ・自分からあいさつをする。
- ・朝食をきちんと食べる。
- ・朝の排便を習慣化。
- ・帰宅したら、くつのかかとをそろえて置き、すぐにうがい・手洗いをする。
- ・宿題と自主的な学習をする。
- ・自分で明日の準備をする。
- ・ゲーム、スマートフォン、タブレット等の使用時間や使い方のルールを、家庭で決める。
- ・家のお手伝いをする。(家庭での役割があるとよい)
- ・決まった時間に寝る。(夜更かしをしない)

(家庭学習の目安:10分×学年+10分)

## 身に付けたい力

ここに書かれているものは、小学校の学習の中でも特に確実に身に付けておきたい内容です。これらを参考にして、家庭での学習に生かしていただけたら幸いです。

### <1年生>

- ・えんぴつを正しく持つことができる。
- ・大きな声ではっきりと話すことができる。
- ・ひらがな、かたかなの清音全てが読め、書くことができる。
- ・配当漢字の全てが読め、8割以上の漢字を書くことができる。
- ・助詞(て、に、を、は)を適切に使い分けて文章を書くことができる。
- ・足し算・引き算ができる。(100マス計算4分以内を目標に)
- ・時計を読むことができる。

### <2年生>

- ・配当漢字の全てが読め、8割以上の漢字を書くことができる。
- ・時間を追って経験したことを話すことができる。
- ・九九をすらすらと言うことができる。
- ・足し算・引き算・かけ算ができる。(100マス計算3分以内を目標に)
- ・決められた長さの直線を、定規を使って正しく引くことができる。
- ・足し算・引き算の筆算ができる。

### <3年生>

- ・ 配当漢字の全てが読め、8割以上の漢字を書くことができる。
- ・ 主語や述語、修飾語の意味がわかる。
- ・ 国語辞典を使って言葉を調べることができる。
- ・ 簡単なことわざを知っている。
- ・ ローマ字の読み書きができる。

(教科書の配当時間が少ないので、家庭学習での御協力をお願いします。)

- ・ 足し算・引き算・かけ算ができる。(100マス計算2分以内を目標に)
- ・ 割り算(第三類型)ができる。(50問10分以内を目標に)

※第三類型とは、あまりのある割り算であまりを出すときに繰り下がりのある引き算をしなければいけない問題のことで、全部で100問あります。

- ・ コンパスを正しく使うことができる。
- ・ 4方位(東西南北)がわかる。

### <4年生>

- ・ 配当漢字の全てが読め、8割以上の漢字を書くことができる。
- ・ 指示語や接続語の意味がわかる。
- ・ 漢和辞典を使って漢字を調べることができる。
- ・ 割り算(第三類型)ができる。(50問5分以内を目標に)

※第三類型とは、あまりのある割り算であまりを出すときに繰り下がりのある引き算をしなければいけない問題のことで、全部で100問あります。

- ・ 割り算の筆算ができる。
- ・ 小数の足し算や引き算、小数×整数、小数÷整数ができる。
- ・ コンパスや分度器を正しく使うことができる。
- ・ 地名が調べられ、47都道府県と場所を覚え、漢字で書くことができる。
- ・ 8方位(東西南北+北東・北西・南東・南西)がわかる。

### <5年生>

- ・ 配当漢字の全てが読め、8割以上の漢字を書くことができる。
- ・ 小数×小数、小数÷小数の計算ができる。(小数点の移動)
- ・ 異分母の分数の足し算や引き算ができる。(通分、約分)
- ・ 速さや道のりの問題を解くことができる。
- ・ 割合、百分率を使った問題を解くことができる。

## <6年生>

- ・小学校で習う全ての漢字が読め、8割以上の漢字を書くことができる。
- ・分数×整数、分数÷整数の計算ができる。
- ・分数×分数、分数÷分数の計算ができる。
- ・日本の歴史の流れや人物がわかる。
- ・理科の実験道具の正しい使い方がわかる。

## 家庭での学習内容

家庭でできる学習内容を例として挙げました。子供だけで取り組むのは難しいと思いますので、声掛けや見守りなどお願いいたします。

- ・教科書を繰り返し音読する。(国語だけでなく、苦手教科を中心に)
- ・授業の復習をする。(ノートなどにまとめてみるなど)
- ・授業中やテストで間違えたところにもう一度取り組む。  
(専用のノートを作り、時折振り返ると更によいです。)
- ・簡単なドリルを用意して、短時間で行う。(できれば複数回行うとよいです。)
- ・100マス計算を行う。(他人と比べるのではなく、個人の伸びを評価してあげてください。)
- ・社会や理科で学んだことをノートにわかりやすくまとめる。

※「学習の手引き」は朝霞第十小学校 HP トップページ右下の「家庭学習の手引き」のボタンから御覧いただけます。

## 最後に

これからも、学校と家庭とが協力して子供を伸ばしていけたらと考えています。御協力宜しくお願いいたします。